

世界中の人に盛岡さんさ踊りの魅力を届けたい

2022 ミスさんさ踊り

千葉彩楓 さん

ちば・さやか 21歳 大更



平成13年生まれ。休日は温泉を巡り、気分転換をしている。自身の性格を人見知りだが、根は明るいと分析。小さいころから憧れていたミスさんさに一般公募で選ばれ、年間を通じて、県内の観光をPRする催しなどで盛岡さんさを披露する。

子どものころから憧れていたミスさんさ踊りとなった千葉彩楓さん。選ばれたときは、「うれしさと驚きでいっぱいでした。選ばれることができたのは、職場や友人など多くの人に支えられたおかげで、特に母にはさまざまな面でサポートしてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです」とはにかむ笑顔が初々しい。今は、仕事と両立しながらミスさんさに選ばれた4人とともに練習に励む。

母の勧めで中学校2年生の時にさんさ踊りを始めると、力強い太鼓の演奏と華やかで美しい踊りを間近で体感し、さんさ踊りの魅力に気づく。「最初は、踊りを覚えるのに苦労しました」と当時を振り返る。ミスさんさを目指したのは、社会人になって岩手の伝統であるさんさ踊りを知らない人が多いことに気づき、「もっと多くの人に魅力を伝えたい」と思ったのがきっかけ。念願だったミスさんさとなり「大好きな盛岡さんさ踊りを見

に来てくれる人たちを笑顔にしたい」と練習にも力が入る。8月1日から3年ぶりに盛岡さんさ踊りが始まる。本番に向け「私たち5人のミスさんさの息の合った踊りで沿道の人たちや参加者、県内外の人たちにさんさ踊りの魅力を届けられるよう精一杯頑張りたい」と今日も踊りに磨きがかかる。



盛岡さんさ踊りパレードに向け、練習に取り組む2022ミスさんさ踊りの千葉さん(前列左)

【広告】

いぼ、癌、免疫系等
コミュニティバス「にしね眼科」バス停すぐ
薬のプロフェッショナルがあなたのご相談を承ります
漢方のあさひ薬局 西根中学校前店
公認スポーツファーマシスト 国際中医専門相談員 認定実務実習指導薬剤師
薬剤師 齋藤貴将
八幡平市大更24-1-118(西根中学校前) TEL.0195-70-2311

■編集後記

▽子どもたちにインタビューすると、思いもしない感想が毎回。目に映る一瞬を切り取り言葉にする瞬間の発力や表現のみずみずしさに感動したり、言葉に詰まったり、吹き出したり。帰毛が遅い日が数日続いた先日、子どもが私の顔を見て一言。「久しぶり！」
▽ミスさんさ踊りに選ばれた千葉彩楓さん取材しました。3年ぶりに開催予定の盛岡さんさ踊りに向け、連日練習に励んでいる姿は、真剣そのものでした。生で盛岡さんさ踊りを見たことがなかったので、今回は行ってみたいと思います。皆さんも一緒に盛り上げましょう。
① 雅

